

7月13日（火）着衣泳を行いました

本日、午後より着衣泳を行いました。以前は着衣泳を行っていませんでしたがいつのころかどの学校でも取り組まれるようになりました。とても大切な学校の行事の一つです。

“自分の命は自分で守る”ために必要な技能とってよいと思います。服を着て泳ぐことの大変さやペットボトルをどのように使って浮かべばいいのか、など体感することにこの着衣泳を行う意味があります。本校では、3、4年担任が指導しました。どのように着衣泳を指導したのか紹介します。



① まずはペアになり、体を浮かせる体験を行います。頭を海の中に入れて、なるべくあごを上げて、ずっと浮かせることを覚えさせます。



② この写真は、上手にあごを出して浮いている写真です。奥の子どもも上手に浮くことができます。この状態でじっと待つことができたなら助かる可能性が高くなります。



③ 次に、体操服を着て水に入る体験をします。服が水分を吸ってしまい体が自由にきかなくなるということを知ります。毎年のようにくりかえし体感することでいざというときに冷静になる訓練です。

④ 重くなってなんとか泳ごうとしても泳げなくなります。

そこで・・・ペットボトルの登場です。少し水を入れることで溺れている人へ向けて投げやすくなったり、より遠くへ飛ばすことができたりします。さらに大切なのがペットボトルの位置です。より浮きやすくするために首付近に抱えることを学びます。

※私たちはこのようにしていざというときに命を守る学習をしています。とても大切な学習です。

（文責：校長）

